

「就職先アンケート」報告

2025.9

キャリア支援部

就職先による卒業生の評価および学修成果等に関する調査

実施期間：2025年7月18日（金）～8月20日（火）

調査対象：2025年3月卒業生の全就職先〔193件（278人分）〕

＜内訳＞社会福祉学科	： 56 件（61 人分）
子ども教育保育学科	： 58 件（65 人分）
理学療法学科	： 40 件（57 人分）
作業療法学科	： 25 件（28 人分）
看護学科	： 37 件（67 人分）

調査方法：郵送

調査項目：以下のとおり

1. 事業所名
2. 記入者名（部署・役職・氏名）
3. 評価対象者名（卒業生氏名・学科名）
4. 評価対象者の評価
 - (1) 総合評価（5段階評価／S・A・B・C・D）
 - (2) 特に評価できる点（能力、勤務態度、意欲など）
 - (3) 気になる点、不十分な点など
5. 学修成果等に関する本学卒業生全体の評価（5段階評価／S・A・B・C・D）
 - (1) 福祉社会のリーダーとしての資質と豊かな人間性を支える幅広い教養を身に付けている
 - (2) 専門領域に関わる基礎力とともに、専門性を高める知識・技能・態度を身に付けている
 - (3) 教養と専門知識を総合して課題を発見し、解決することができる
 - (4) 地域社会の多様な人々と良好なコミュニケーションをとり、チームの一員として役割を果たすことができる
6. 採用の観点から、大卒者に期待する能力について
7. 採用の観点から、大卒者に期待する知識について
8. 採用時の判断基準として有効活用が可能な「学修成果の情報」について
9. 本学へのご意見・ご要望

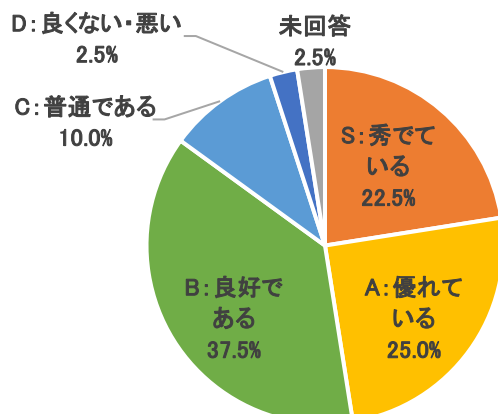
回答方法：Google フォーム、FAX、メール

回 答 率：65.3%〔126件（177人分）／193件（278人分）〕

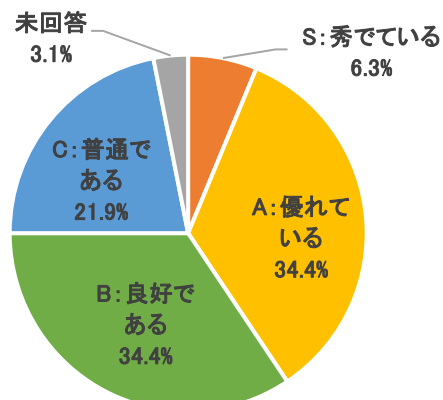
＜内訳＞社会福祉学科	： 67.9%〔38件（40人分）／56件（61人分）〕
子ども教育保育学科	： 53.4%〔31件（32人分）／58件（65人分）〕
理学療法学科	： 82.5%〔33件（43人分）／40件（57人分）〕
作業療法学科	： 56.0%〔14件（15人分）／25件（28人分）〕
看護学科	： 64.9%〔24件（47人分）／37件（67人分）〕

「4. (1) 評価対象者の総合評価」の集計結果

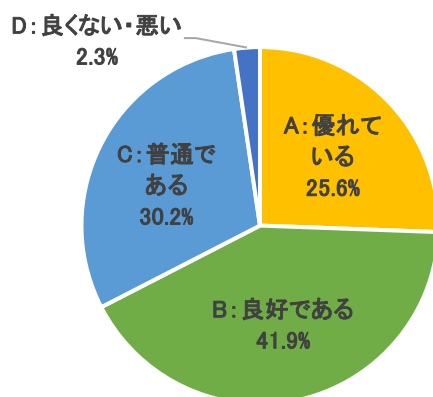
社会福祉学科



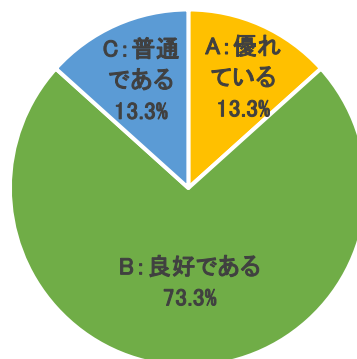
子ども教育保育学科



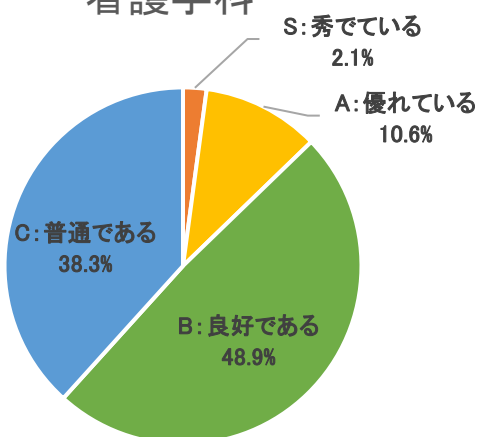
理学療法学科



作業療法学科



看護学科



「4. 評価対象者の評価」の主な回答

(2) 特に評価できる点（能力、勤務態度、意欲など）

<社会福祉学科>

- ・積極性、間違いや分からないことに気づき確認できる
- ・挨拶がハキハキしている所がとてもよく、部内全体の雰囲気良くなっていると感じている
- ・社内行事の積極的な参加
- ・新しい仕事への取り組みも積極的です。将来的にやりたいことに関しても、ビジョンがあり期待を持っています。覚えも良いため、色々と任せていきたい人材として評価しています。
- ・診療情報管理士としての知識を活かし、即戦力として業務を遂行できている
- ・前向きに素直に研修を受け、それを吸収していく能力があります。同期のムードメーカー的な役割も担っており場の雰囲気作りにも長けている印象です。
- ・非常にまじめで勤勉、且つ誠実な性格である
- ・業務習得のため積極的に取り組む姿勢が高評価である
- ・今後、所属チームを牽引する存在となる見込みがある
- ・採用より3カ月が経ち、ローテーション勤務にも慣れてきている。他の職員とも意欲的に良好な関係を築きながら勤務している。大学で学んだ社会福祉の知識を生かしながら支援を行っており、利用者からも信頼を得ている。
- ・福祉に関する一般的な知識は身につけていると思います。現場で一つずつ経験を積み、力を付けていってほしいと期待しています。
- ・1日でも早くなれるために積極的に利用者にかかわってくれています。分からないことがあれば確認し、伝えたことはしっかりとこなしてくれます。まだ3ヶ月ですが、状況をしっかり見て判断しと動いているところが素晴らしいです。研修にも積極的に参加し頑張っています。
- ・目の前の課題に真摯に取り組むことができ、分からない点は自ら先輩社員に質問する事ができる。社会人として自立した生活を送る事ができており、遅刻や欠勤もなく、体調や健康面でも自己管理が出来ている。相手を思いやり、誰に対しても慎みある行動がとれる。業務で苦手な事や大変な事があっても、逃げずに対応しようと努力する事ができる。
- ・入社時導入研修、業務研修ともに明るく前向きに受講する姿は講師からの評価は高かったです。実務に移行したあと、少し不安になる状況になった際は同期メンバーを心の支えとし無事に乗り切ってくれました。
- ・わからない事であったり、疑問に思った事は自分から質問する等、真面目で意欲的に行動している。また、助言やアドバイスについても素直に聞き行動できている。

<子ども教育保育学科>

- ・常に笑顔でこどもたちに対応している。指示や助言に素直に取り組んでいる。
- ・手先が器用で、作業も丁寧です。絵がとても上手なので、こどもたちに、色々な絵を描いてくれます。優しく真面目です。子どもたちに見せる、職員の劇などにも、積極的に参加してくれます。大変じゃないですか？と尋ねると、頼まれることが嬉しいと、答えてくれて、何事にも、前向きです。初めての男性保育士ですが、周りの職員も、彼の特技を活かして保育が活性化されています。
- ・ポルトガル語による保護者対応
- ・就職前から自園にボランティアとしてきており保育士や子ども達との関係づくりや園の生活の流れも把握していて、4月から就職した際にその点においてとてもスムーズだった。普段から笑顔も多く明るい雰囲気でこども達からも慕われている。
- ・1歳児担任であるが、子どもの発達を捉えて保育ができている

- ・法人理念および保育園の保育の柱を理解して保育に当たっている
- ・毎日、丁寧な挨拶を心がけており、基本的な礼儀を大切にする姿勢が感じられます。子どもと関わる中で悩んだりしながらも、自分なりに考えて取り組もうとする姿が見られます。
- ・園の都合ですが、初任にもかかわらず年長児を担当にしてもらっています。わからないことだらけだろうに、必死に先輩についていこうと頑張ってくれています。また、同僚に対しての気遣いもとてもできる素敵な先生です。
- ・クラス内での話し合いでは自身が立てた指導計画のねらい、環境構成、保育内容から反省や次に生かしたいことをしっかりと自分の言葉で記録することができるようになってきている。
- ・先輩の姿を見て真似るなど自分のものにしようとするところ
- ・助言に対し素直に受け止め、次に生かそうとしている

<理学療法学科>

- ・患者にもスタッフにも丁寧に対応出来ています。勤務態度は良好です。
- ・礼節があり仕事へのモチベーションも高い
- ・何事にも責任感をもって対応している
- ・患者、職員へのコミュニケーション能力良好
- ・先輩、上司に対して気遣いができる点
- ・指導に対して受け入れが良く、理解度も良い。
- ・自ら考えて行動ができている点が評価できます。臨床場面でも、4月から冷静に落ち着いて取り組めている点に関心しました。
- ・基礎的な知識を身につけている。疑問点に関して積極的に質問したり、業務内容や治療内容の報告をすることができる。
- ・評価や治療方針、自分の考えを整理して伝えることができている
- ・処理能力、意欲、社会性
- ・わからない業務や担当患者のことも自己判断せず、報告・確認・相談する姿勢が見受けられています。
- ・日々振り返りを行いながら、意欲的に業務に取り組んでいる点、正確な事務処理能力
- ・分からない所や予想外の状況が起こった際、指導者に速やかに指示を仰ぐ点
- ・コミュニケーションをとることが苦手と自分から話しており、声も小さくなりがちでしたが、自分から話題を持ちかけることが増えつつあり、良い傾向だと感じています。

<作業療法学科>

- ・与えられた業務は一生懸命こなしています。患者さんへの対応もいいです。
- ・誤りを素直に認めて改善しようとする姿勢
- ・スタッフとのコミュニケーションは積極的にとっているため、業務を指導したり、遂行したりする上でのやり取りがスムーズに行えている
- ・学ぶ・吸収する姿勢が感じられる。
- ・目標に対しての努力ができる。
- ・社会人として基本的な接遇（挨拶・時間を守る・報連相）ができている。
- ・初めてのことでもやってみようという意欲（チャレンジ精神）が感じられる。
- ・関わった対象者様の情報共有をこまめに前担当者で行っている。
- ・患者、家族、スタッフと接する際に感情的にならず、冷静に接することができます。一度指摘された内容は素直に受け入れ、修正することができます。
- ・移乗練習も自分から勉強希望あり。

<看護学科>

- ・「報連相」をしっかりと行える
- ・看護技術への意欲
- ・多職種とのコミュニケーション能力
- ・忙しい時でも笑顔で接し、挨拶を交わすことができるため一緒に働きやすい存在である。
- ・日々の勤務では自己のスキル向上につながるよう、先輩看護師とも積極的にコミュニケーションを取ながら学ぼうとする姿勢、新しい技術面への実践の意欲が見られます。
- ・新人研修での課題も真面目に取り組み、報告の内容も分かりやすくまとめられています。
- ・社会人としての意識を持ち、同僚や患者・家族と良好な関係をつくることができる。また、自分本位ではなく、患者中心に考えることを心がけ必要な知識や技術の習得に前向きに取り組んでいる。
- ・わからないことを質問して同期に共有するなど、リーダー的役割を担っている。
- ・研修中は、他の新人職員の不安や戸惑いにも気づき、さりげなく声をかけるなど、周囲への気遣いができる事が印象的です。自らも学びながら、他者を思いやる姿勢は、将来的なリーダーの素地として評価します。緊張感のある場面では、戸惑う事もありましたが、経験を重ねることで、安定した対応が期待できます。
- ・性格的に穏やかであり、患者の前で感情の起伏がない
- ・改善してほしい点を伝えたら飲み込みが早く、すぐに応えてくれる。わからないこと、不安なことがあるとすぐに相談しに来てくれる。日々の振り返りの中でも自分の不十分だった点、改善方法をしっかり分析して考えられている。
- ・患者への声がけや態度など接遇も優れています。職場の先輩や上司に対して報告や相談する能力も高く、社会性が身に付いています。
- ・業務が重なってもあせらずに対応できている
- ・素直で自分の気持ちを表現してくれるため考えている事が理解しやすく、アドバイスもしやすいです。

(3) 気になる点、不十分な点など

<社会福祉学科>

- ・声が小さい、同僚とのコミュニケーションが少ない
- ・彼の将来的にやりたいことが、弊社のおこなっている事業(サービス)の中で出来るのかどうか不安があります。
- ・同期入社のメンバーとの成長度合いやスキル差を比較し、やや気にする傾向あり
- ・報告、連絡、相談があまりできていない。自分からの発信がない。
- ・自分の業務に集中するあまり、周囲の状況に気づかない事があったり、他の職員の助けが必要な場合に遠慮して言えない事があるため、より強い報連相の意識付けが必要と感じる。
- ・業務について、わからないことなどは周囲に確認できていますが、自身の体調（体、心）について発信が少ないことが少々気になります。仕事を長く続けるために、自分の体調にも気を配り、早めに発信してほしいと本人にも伝えていきます。
- ・利用者様への対応、言葉かけ（タメ口）、自分はできていると過信しすぎている。
- ・分からない事や困った事があっても自分で進めてしまい聞かない為、ミスにつながっている
- ・普段慣れている仕事は出来ている事も多いが、イレギュラーな事が起こると焦ってパニックになる事があるので落ち着いて、と声かけする事がある
- ・場の空気を読めない所がある

<子ども教育保育学科>

- ・不安なことが顔に出てしまう、泣いてしまう。
- ・昨年度の実習後のアルバイト期間に無断欠勤、連絡がつかないということがあったので、その点は心配している。
- ・緊張しやすく、力を発揮できないところがある
- ・消極的なところ（言われるまで待っていたり自分から進んで動けない）
- ・1体1で丁寧にかかわってくれるが、周りが見えていない（他の子が何をしているか…）
- ・悩みを自分発信せず一人で抱え込む傾向あり、声をかけて悩みを聞き出しアドバイスをして悩み過ぎないように配慮している。
- ・文章表現力。指導案や連絡帳での記録の表現が話し言葉になっていることが気になる。その都度指導するが、慣れていないためか同じ表現が繰り返されることもある。
- ・周囲とのコミュニケーション力や保育に対する意欲はあまり感じられません。
- ・困ったことや分からないことがある場合でもすぐに上司や同僚に相談できない点が少し気になります。

<理学療法学科>

- ・リアクションが乏しく、口数も少ないため、こちらからのアプローチが常に必要。
- ・業務中の態度(姿勢や言葉遣い)が気になる。
- ・評価治療など理学療法スキルの経験
- ・意欲は高いが、少し視野が狭い印象がある。一生懸命な面、失敗した後の心理的な落ち込みがある（よく涙を見せることがある）
- ・患者さんへの接遇（挨拶など）
- ・業務上の疑問点を自ら進んで文献観察するなどして学ぼうという姿勢はまだ不十分。
- ・臨機応変な対応に課題あり
- ・人との距離のとり方の加減が難しく相手が圧迫感を感じてしまうことがあります。会話を続けることに苦手意識があり、患者からの生活状況や希望の聴取に課題があります。
- ・質問が少ない。確認が不十分。勉強会やミーティングで居眠りしていることがある。
- ・敬語が不十分。文章能力がやや低い
- ・基本的な知識が不足しており、知識を補う学習も不十分な点
- ・理学療法について、評価・問題点抽出・考察・治療は不十分なことが多く指導が必要な状態である。また、疾患のみに着目してしまい、背景にまで目を向けられるように指導していく（多職種との連携など）

<作業療法学科>

- ・課題（職場の e-learning 研修など）をギリギリまでおこなわない傾向がある。指導者が再三確認してくれているのですが、それがなければどうなっているのか・・・。
- ・これは他校の卒業生も同じですが、ちゃんと患者さんを診て考えられないというか、例えば PT カルテに書いてある評価をそのまま記載するだけで、詳細(BRS 3 でもどの程度動くのかなど)を確認していない。
- ・一つのことに固執するとなかなか離れられない場面がある。
- ・混乱しやすい（それが態度に出やすい）
- ・仕事とプライベートの切り分け
- ・報連相など表出することが苦手な印象です。困っていることがないか随時声をかけています。
- ・先輩や上司、患者様に対する受け答えが時折くだけすぎているようにも感じる。
- ・認知症で高度難聴もある患者様への声掛けにおいて、徐々に言葉が強めになりやすい。

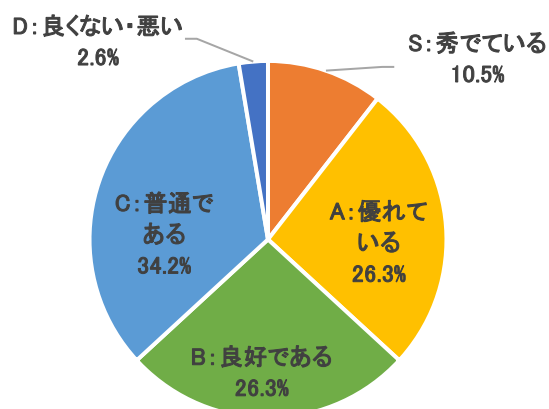
<看護学科>

- ・段取りが悪い、不器用さが目立つが今後に期待する
- ・指導・助言を受ける際、メモ記録をとらず、同じことを何度も質問してくる時期が続いた。
- ・患者に対するコミュニケーション能力が低め
- ・これまでの実習経験のなかでは、関わる事がなかったという患者の感情（悲嘆や怒り）に接し、実際の臨床現場と実習とのギャップを感じていたようです。
- ・通達事項の確認や提出物が遅れることが何度かあった。
- ・緊張状態で、まだまだ表情がやや硬い。
- ・患者のニーズを全人的にとらえ看護するためにスタッフと振り返りをしているが、自己学習が足りないように感じるためこれから身につけていけるように指導に努め働きかけたい。
- ・先輩とのコミュニケーションに課題がある。自分が苦手だと感じた場合、ペアを外して欲しいと考える。自信がないのか、消極的。報告が後手になり、患者の状態をペアと共有されない場合がある
- ・就職して2ヶ月経過した頃に、精神面の不安定さを本人より口頭で聞きました。コミュニケーションをとることはできるのですが、電話を出ても何を話していたか全く覚えられない、文字や絵でないと記憶に残らないなど学習方法や接遇等について気になる点があります。
- ・言葉遣いの面で看護補助者さんに対して敬語でないことがあるので気を付けていきます。
- ・リアリティショックが大きかったようで、よく泣いています。多重業務になると、パニックになってしまう傾向があり、業務を整理する優先順位を考える等の組み立て方が難しいと感じているようです。

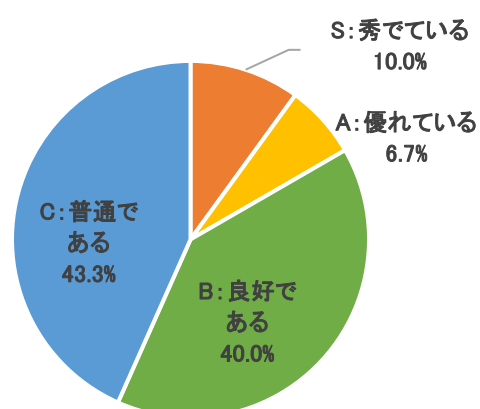
「5. 学修成果等に関する本学卒業生全体の評価」の集計結果

(1) 福祉社会のリーダーとしての資質と豊かな人間性を支える幅広い教養を身に付けている

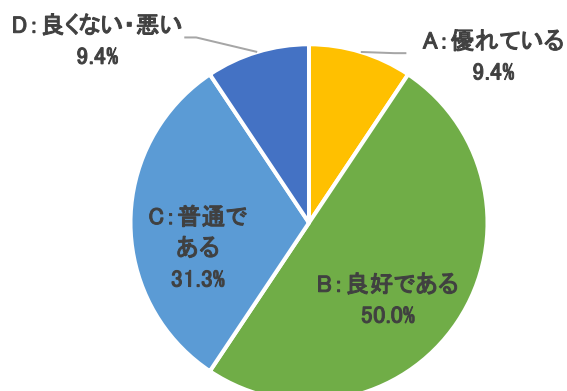
社会福祉学科



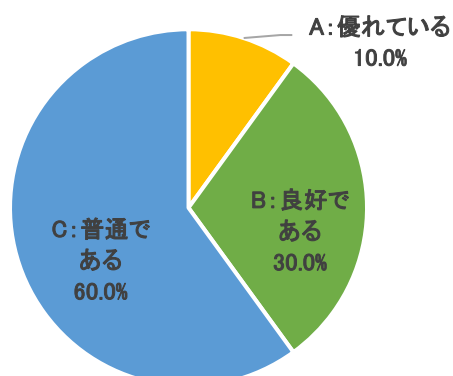
子ども教育保育学科



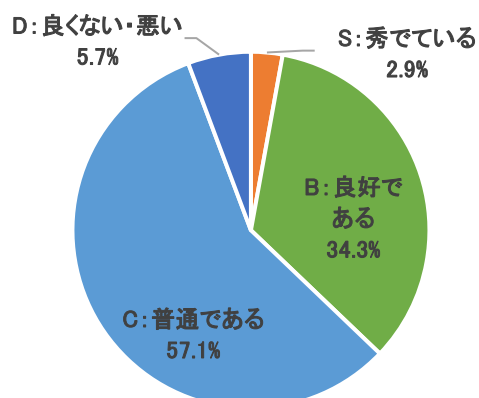
理学療法学科



作業療法学科

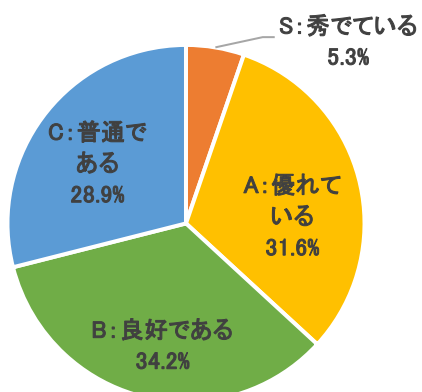


看護学科

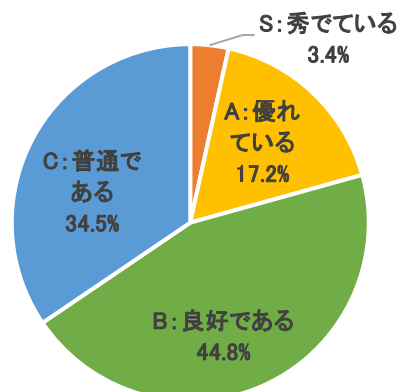


(2) 専門領域に関わる基礎力とともに、専門性を高める知識・技能・態度を身に付けている

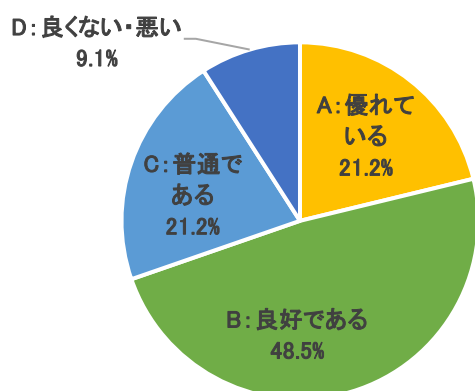
社会福祉学科



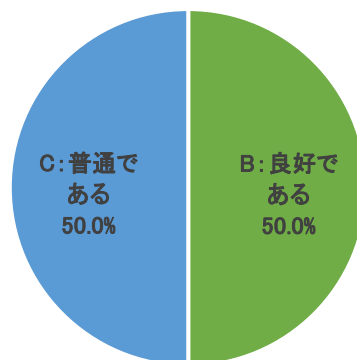
子ども教育保育学科



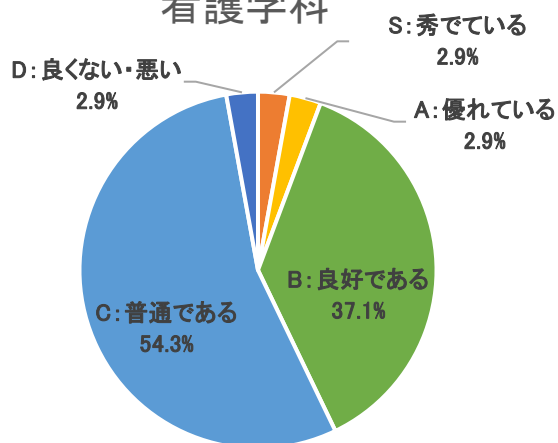
理学療法学科



作業療法学科

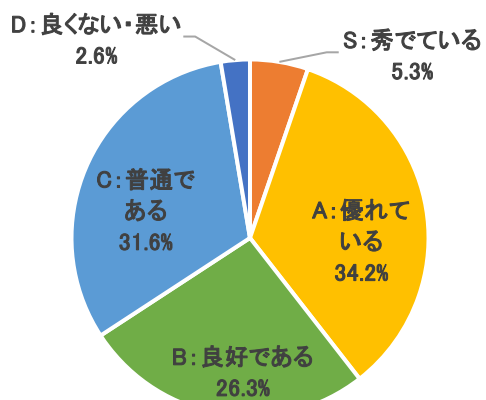


看護学科

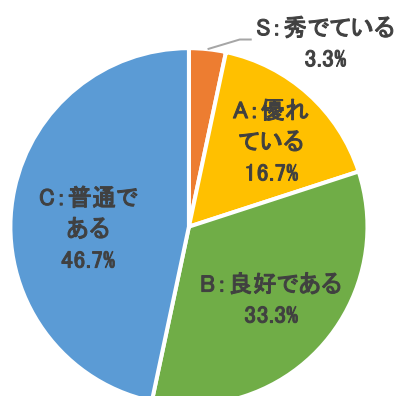


(3) 教養と専門知識を総合して課題を発見し、解決することができる

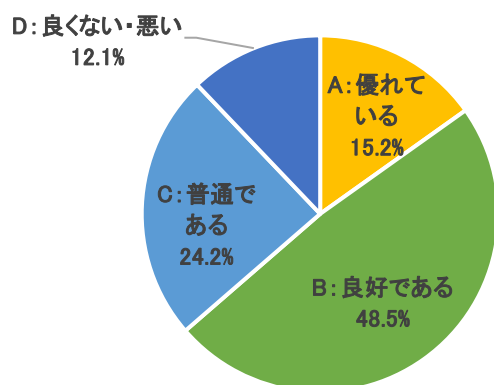
社会福祉学科



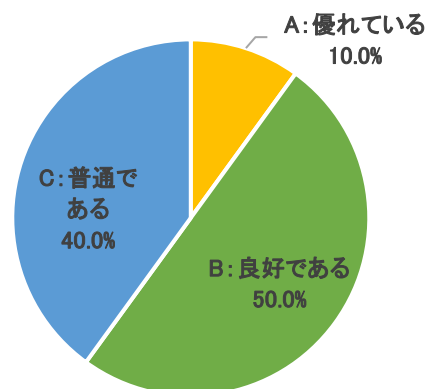
子ども教育保育学科



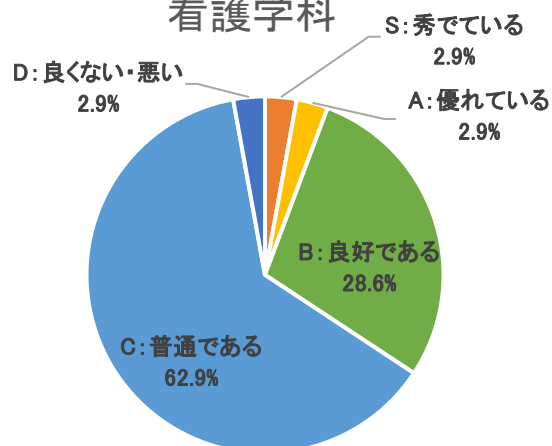
理学療法学科



作業療法学科

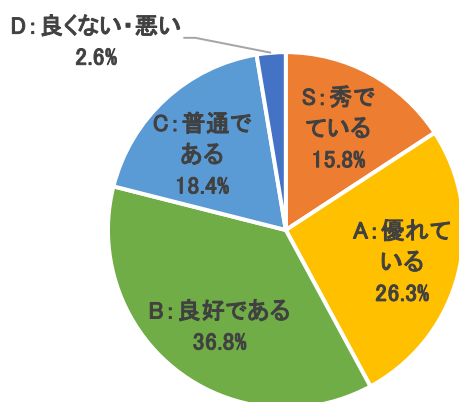


看護学科

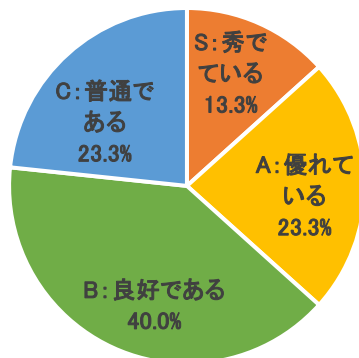


(4) 地域社会の多様な人々と良好なコミュニケーションをとり、チームの一員として役割を果たすことができる

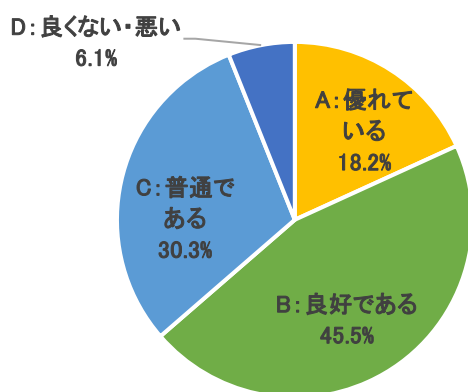
社会福祉学科



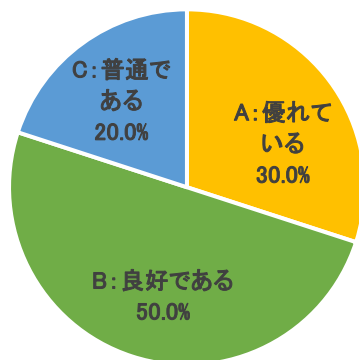
子ども教育保育学科



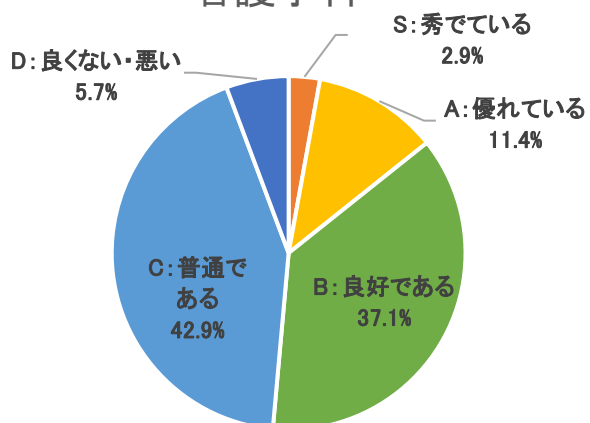
理学療法学科



作業療法学科



看護学科



「6. 採用の観点から、大卒者に期待する能力について」(自由記述)の主な回答

<社会福祉学科>

- ・主体性
- ・知識を活かした論理的思考力
- ・発信力
- ・リーダーシップ
- ・自発的な行動
- ・傾聴力
- ・コミュニケーション能力
- ・課題解決能力
- ・素直さ
- ・前向きさ
- ・課題発見力
- ・根拠に沿ったケアの提供
- ・高いコンプライアンス意識
- ・自身でアレンジせず、まずは規定通りにやること
- ・大卒者には即戦力をすぐに求めているわけではないので最低限、報連相が自分からしっかりできるようなってほしい。
- ・協調性
- ・積極性
- ・吸収力
- ・実践力
- ・ひたむきさ
- ・論理的思考力
- ・柔軟性
- ・共感力
- ・情報収集力
- ・やり切る力
- ・物事を深掘りする力
- ・困難に対する順応力
- ・PDCAを自分で廻せると良い

<子ども教育保育学科>

- ・主体性
- ・協調性
- ・コミュニケーション能力
- ・意欲、素直さ
- ・臨機応変さ
- ・分からないことを分からないと言える勇氣
- ・自身の目標に向かって努力し、課題の把握ができる方
- ・自分の感情をコントロールする力(対保護者、先生)
- ・大卒者に限らず、社会人としての振る舞いや、物事に対して受け身ではなく主体性を持っていること
- ・要領や指針などの『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』に記載されていること
- ・知識や技術は後からでも覚えることができます。しっかり受け答えし、利用者や職員と良好な人間関係を作れる方を望みます。
- ・一般的に、皆さん、基礎的な学びをされていると思います。保育業務では、栽培、飼育、クッキング、掃除、整理等、学業以外の日常の経験をどれだけしているかで差が出ます。経験が無いことで、子どもの命に関わることもありますので、経験や、情報交換が、大切だと思います。
- ・発信力
- ・傾聴力
- ・社会性
- ・課題設定、解決能力
- ・実践力

<理学療法学科>

- ・学会発表、臨床研究
- ・礼節がある
- ・患者さんに向き合う真摯な姿勢
- ・解決能力
- ・コミュニケーション能力
- ・医療専門職としての責任感
- ・発信力
- ・忍耐力(レジリエンス)
- ・学修意欲(情意)
- ・傾聴力
- ・関心力
- ・主体性
- ・処理能力
- ・社会性

- ・ 研究的思考
- ・ 自発的に聞く、調べる、疑問を持つ、工夫する
- ・ 診療技術以外の組織で働く人としての学びとる姿勢（意欲）
- ・ 地域に貢献できるように、まずは、県士会に入会して頂きたい。年々、入会しない新卒者が増えている。自己研鑽や地域の活動に参加する為にも是非入会を（学校でも）促して頂きたい。

＜作業療法学科＞

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| ・ 協調性 | ・ 傾聴力 |
| ・ 実行力 | ・ 社交性 |
| ・ セルフコントロール | ・ 心身共に健康であること |
| ・ 主体性 | ・ 向上心が高いこと |
| ・ 課題設定（自分に何が足りないか） | ・ 能動的に学んでスキルアップしようという気持ち |
| ・ 自分の意見を積極的に発言できること | ・ 解決能力（何を学ぶべきか、どう行動すべきか） |
| ・ 患者の課題だけでなく、業務改善能力を期待します。 | |
| ・ 多職種連携できるコミュニケーション能力 | |

＜看護学科＞

- | | |
|--|-----------------------|
| ・ 基礎学力 | ・ 傾聴力 |
| ・ 発信力 | ・ 適応力 |
| ・ コミュニケーション能力 | ・ 人間関係の構築 |
| ・ 文章能力 | ・ 問題解決能力 |
| ・ 社会人としての基礎力 | ・ 自己の課題を分析する能力 |
| ・ 看護への関心と人間尊重 | ・ 倫理観 |
| ・ 自分自身の体調管理 | ・ 精神的安定 |
| ・ 生涯学び続ける能力 | ・ 知識と技術を統合し実践に繋げられる能力 |
| ・ エビデンスに基づく看護技術力 | ・ 基礎的な教育やリーダーシップの素養 |
| ・ 大学で学んだ高い専門知識や実践的な技術を効果的に活用できること | |
| ・ 複雑な患者のケアや予期せぬ状況に対して柔軟かつ論理的に対処する能力 | |
| ・ AI 等、調べる事が安易になったためか調べたことに満足し、実質の理解につながっていない人が多い。調べたことを自分のものにする力、方法を身につけてほしい。 | |
| ・ 実践に役立つ看護の根拠となる知識（看護ケアの有効性を説明できる理論やデータ） | |
| ・ 医療や看護における倫理的知識（患者の権利、医療倫理に基づく判断に必要な知識） | |
| ・ デジタル化に対応した知識 | |

「7. 採用の観点から、大卒者に期待する知識について」（自由記述）の主な回答

＜社会福祉学科＞

- ・ 専攻分野における基礎知識、専門知識
- ・ 一般教養
- ・ 基礎的な数学的知識
- ・ 社会福祉士国試の範囲の知識
- ・ 認知症についての基礎知識
- ・ 高齢社会におけるニーズ
- ・ 障害福祉サービス等を含めた障がいのある方が利用し得る制度
- ・ 障がいに関する法律の概要や成立の背景

- ・ 移乗、移動、ボディメカニクス等の基礎知識
- ・ 大卒者には最低限の専門分野(社会福祉・介護)の知識を期待しています。
- ・ 弊社が IT 関連企業のため、大学で異なる分野を学ばれた学生に対しては特に専門的な知識を重視していません。人柄や協調性などを重視します。

<子ども教育保育学科>

- ・ こどもの発達段階、特徴
- ・ コミュニケーション力
- ・ 社会常識、ビジネスマナー
- ・ 特別支援
- ・ 福祉制度や障害についての知識
- ・ 専攻分野における基礎知識、専門知識
- ・ パソコン基本操作、SNS 運用
- ・ 保育の基礎知識はしっかり学んで欲しい
- ・ 学力以外での多様な経験・自分たちで課題や疑問を持ち、チームで語り合う中で多様な視点を持つこと。その中で必要なこと（子どもの発達、子ども理解、遊びについてなど）を調べ学んでいくこと
- ・ 教育・保育に関する知識の他に、例えば「給付認定の種類」などの制度知識があればなお良いと思います。

<理学療法学科>

- ・ 専攻分野における基礎知識、専門知識
- ・ 解剖学、生理学
- ・ 専門領域への興味、関心、向上心
- ・ 評価知識、技術の習得
- ・ 敬語、謙譲語など日本語特有の使い分け。口語体、文語体の使い分け。一般的に多く使用される医学英語能力。
- ・ 機能評価からではなく能力（ADL）から評価をしていくために必要な知識と応用力。
- ・ 協会と言う組織についての知識、研究をする意義・意味
- ・ 国家試験レベルの知識は取得しておく。
- ・ 臨床的な思考プロセスを自ら考えられる力
- ・ 診療報酬制度について

<作業療法学科>

- ・ 専攻分野における基礎知識
- ・ 作業遂行を人ー作業ー環境で捉える視点
- ・ トップダウンアプローチ、作業の目的利用などの専門知識
- ・ 社会人としての一般常識
- ・ 国家試験合格できる専門知識があること
- ・ 当施設での対象者となる高齢者特性に関する知識
- ・ 単なる知識や技術にとどまらず、評価と治療における論理的思考と臨床推論のスキルを期待します。

<看護学科>

- ・ 基本的な病態生理や看護技術

- ・精神看護、老年看護、看護倫理
- ・高齢者ケアや地域連携に関する知識
- ・多職種連携、チーム医療の基礎知識
- ・高齢者、慢性期ケアに関する知識
- ・看護理論、看護過程など看護の基本的な知識
- ・看護師として患者の状態を理解し、適切なケアを行うために必要な医学的基礎知識
- ・患者ごとの状況に応じた専門的な看護ケアを提供するために必要な臨床看護の専門知識
- ・医療現場だけでなく、地域における健康増進や予防活動にも関わる公衆衛生と地域看護の知識
- ・患者とのコミュニケーションや心理的サポートに役立つメンタルヘルス心理学的な知識
- ・看護師としての職務を果たす際には必要不可欠な倫理的・法的側面の知識
- ・看護に関する最新の知見などの専門知識

「8. 採用時の判断基準として有効活用が可能な“学修成果の情報”について」(自由記述)の主な回答

※一般的な成績証明書には記載されない情報で、選考時の提出書類等に記載や同封を求めるもの

＜社会福祉学科＞

- ・課外活動の内容や卒業論文
- ・学生時代に起こした自主的な活動
- ・実習時の評価
- ・提出物の期限を守る、などの勤勉さの評価
- ・ゼミや実習担当教員からの本人の就業に向けた客観的な意見を書面でいただけるなら要望したい。
- ・ゼミ等での対人関係や具体的な学びが分かるとよかった
- ・特にございません。面接の中ですべて判断させていただいております。

＜子ども教育保育学科＞

- ・趣味や、資格等、特技など、個性のある特技を持っておられた方が、色々な方面に活かされ、生涯の生き甲斐にも通じると思います。
- ・普段の人となりをお教へいただけるととても参考になります
- ・学生生活、ゼミ担当教授、実習先での課題を知りたい
- ・協調性、健康状況、責任感等
- ・サークル活動、ボランティア活動歴など（あれば結構）
- ・本人の希望、目指すもの、目標
- ・面談時に、自己の好きなこと（分野・趣味）を活かしながら、保育活動の中で取り入れていきたいカリキュラムを発表して頂いている
- ・人柄に重きをおいているので現状に満足しています

＜理学療法学科＞

- ・欠席・早/遅刻日数 等
- ・コミュニケーション能力に対する評価
- ・本人の人柄やコミュニケーション力
- ・学生生活を通してその学生が成し遂げたこと等、教育の立場からの学業以外での強みに関する推薦文
- ・授業態度など

- ・対人コミュニケーションスキルや性格・人柄などを客観的な情報であれば良い。
- ・評定点の高い学生は国家試験を突破できると考えており、平均 4.0 以上は基準にしている。

<作業療法学科>

- ・就学態度として、在学中や臨床実習中の出席状況をご教示頂きたい。
- ・臨床実習指導者の評価内容（接遇面、学習態度面など）

<看護学科>

- ・社会人としての常識、モラルを持ち合わせているかわかる資料
- ・一般的な学力と専門分野の成績、特に実習成績に着目しています。
- ・欠席日数やその理由などは知りたいところです
- ・勤怠実績（ルールを守れるか、遅刻や無断欠席の有無）
- ・ストレスに対する対処行動
- ・提出書類の期限が守られていたか。
- ・学生時代に継続してやってきた部活動や社会活動

「9. 本学へのご意見・ご要望」の主な回答

<社会福祉学科>

- ・大卒、短大卒に関わらず社会人としての一般常識を持つ学生ですと何かにつけ助かります。
- ・今年度入社した貴学卒業生は弊社で大変活躍しております。
- ・これからも弊社を卒業生の就職先候補の1つにして頂けますよう、お願いいたします。
- ・金城大学様の卒業生の方3名在籍しておりますが、どの方もとて優秀なだけでなく、飲み込みと吸収も早い印象です。これも金城大学様の先生方のご指導あってこそと思っております。今後とも金城大学様の生徒様とご縁があることを祈っております。
- ・当法人では貴学出身の職員が5名活躍しております。福祉関係や福井県内での就職を希望されている学生の方がいらっしゃいましたら、ご推薦をよろしくお願いいたします。
- ・実習生お引き受けいたします。
- ・福井県出身者がいたら、実習や体験・見学に是非来てもらいたい。当施設は全国ユニットリーダー研修実地研修施設に選ばれており、全国でもめずらしくユニット内調理をしています。建物も家のような雰囲気なので一度は見学に来てほしい（とても学べると思います）。また、求職者がいたら紹介してほしい。
- ・卒業生が就職後もメンタルヘルスを保って働き続けられるよう、卒業後のサポートやそのための大学と職場の連携を求めたい。
- ・採用者が一人の場合はとても記入しにくい内容でした。
特に4については個人の評価で社会人として少しずつクリアにしていく課題であると思うのでそれをなぜ大学に報告するのか（本人の知らない所）というのが当法人として疑問が大きかったです。

<子ども教育保育学科>

- ・実習、アルバイト等、当園の現場に関わり、雰囲気を感じて、入職して下さって、感謝しております。今後も、子どもたちや、保護者。学生さんに、選んでもらえる園になるよう努力していきたいと思っております。宜しくお願い致します。
- ・実習の日誌の書き方が、こどもの行動の意味を考える書き方になっているのが良いと思っております
- ・人員の確保が目的なので即戦力を希望します。バイトなどをするのであれば子どもに関係した仕事の有効だと思っております。

- ・この度のように卒業生に関する調査が、今後の学生指導に反映されることは大変良いと思います。
- ・せっかく学んだ専門知識を活かして働ける職場につけるよう援助してあげて欲しい
- ・大学でどのような授業をしているのか、どんな内容を学んでいるのかなどが見えてくると、実際に勤務した際にこちらとしても対応しやすい部分もあるのかと思います。保育も変わっていく中で、日々の大学のことについて、知る・触れる機会があると嬉しく思います。
- ・大学での学びは、保育・教育の基礎知識や人とのコミュニケーションを身につける大切な場だと思っています。学びがしっかりと今後に活かすことができるよう、大学生活は貴重であることを学生達に伝えていってほしいです
- ・実習担当者会議に参加させて頂き、今の学生さんの資質等、お聞きする中で養成校と園とで共同してお互い尊重し合っていくことが大切だと思っています。保育者・社会人としての厳しさや醍醐味を学べる職場でありたいと思います。

<理学療法学科>

- ・現在の学校教育や協会の方針、社会情勢では、卒業生に即戦力となる能力を期待するのは極めて難しいと思われる。そのため学生の時にしっかりと知識だけでも習得できれば良いと思う。
- ・近年、職能団体（特にPT協会）に所属する療法士が減っています。お金がかかることなので強要はできませんが、専門職に就く者として所属する意義やメリットなどについて、卒業前に伝えていただくと良いと感じます（すでに行っていたいっているかもしれませんが）。
- ・「病院の体制や患者層が思っていたものとズレがあった」という理由で早期に退職することが無いよう、就職を希望する学生においては事前に見学することをお願いしたいです。

<作業療法学科>

- ・今回初めて採用させて頂きました。意欲的で自分の意見を持っている学生さんで今後の活躍が期待できます。大変ありがとうございました。
- ・南加賀圏域で通学中の学生がいらっしゃいましたら、臨床実習だけでなく施設見学等の促しなどお声かけ頂きました幸いです。

<看護学科>

- ・この度、貴学より初めての卒業生を当施設でお迎えすることができたことは大きな喜びであり、貴学でのご指導の賜物と思われまます。卒業生は基礎的な知識・技術はもとより患者さんに寄り添った姿勢や学ぶ意欲もあります。私たちも一緒に支援していき共に成長できるように努めてまいります。同期入職の職員とも仲良く元気に出勤されています。今後ともよろしくお願い致します。
- ・入職時より、少しずつ貴校で学ばれたことをベースに、当院に沿った教育を受け成長過程にあります。素直さがあり、また考えた方がしっかりとされており、同期同士の仲も円滑に保ち、スタッフとも和やかに過ぎしておられ、益々今後成長されることと期待しており、大事に育てていきたいと思っております。貴校への説明会や先輩交流会などのイベントがあれば、当人を含めご協力させていただきたいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。
- ・学業成績が良好であることも大切だが、命の大切さ、命を預かり仕事をしていくこと、倫理観、そのために必要なことは何かをしっかりと教えていただきたい。
- ・看護師としての倫理綱領をしっかりと学んでいただきたい
- ・看護職は生涯に渡り主体的に学習を継続する職業なので、学生時代から自己の学習課題や目標などをもち行動し、考えられるような人材育成を希望する。
- ・本学の学生の皆様が挨拶や礼儀など、基本的な社会人としての姿勢を大切にされている様子が

随所に見られ、非常に好印象を持っております。このような姿勢は、医療現場においても信頼関係の構築に欠かせないものであり、今後の成長の土台となると感じております。今後も引き続き、挨拶や基本的なマナーに関するご指導を継続していただけますよう、お願いいたします。今後とも、貴学との連携を深め看護師の成長を支えてまいります。

以上